

## \\早朝の加東市//

夜の冷えた空気の名残が残る早朝の市内の様子を撮影してきました。

朝やけは、夕やけとは、また違った市内の景色を見せてくれました。



## —ありがとうございます—



株式会社リコー電子デバイス 社工場から、クリーンルームで使用される防塵服(約100着)を寄贈いただきました。



株式会社シナジー&リサイクルソリューションズから、マスク(1,000枚)を寄贈いただきました。



小野加東青年会議所から、マスク(5,000枚)を寄贈いただきました。

### 藤本卓人さん

マスク(5,000枚)を寄贈いただきました。「仕事で入手したが、個人で持っているよりも、市のために使って欲しいです。」とのことでした。

## \\100歳おめでとうございます//



小溝ふみゑさん(森尾)  
大正9年4月10日生まれ  
生け花、書道、ちぎり絵が得意です。

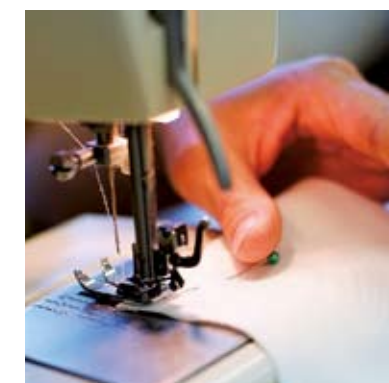
令和2年5月11日現在  
市内100歳以上の方 28人  
(男性1人 女性 27人)

## 教育委員会で マスク作り

市教育委員会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、市場で入手できるマスクの数が限られているため、手作りして布マスクを製作しています。

製作したマスクは、市立小学校、中学校に在籍している児童、生徒に配布する予定で、たくさんの職員により、着々とマスク作りが進められています。

また、製作に必要な生地は、アレルギー等を考慮し、綿100%のもので、市内の事業者の協力により、安価に入手できました。



- |   |   |                                               |
|---|---|-----------------------------------------------|
| 1 | 2 | 1.マスク作りに取り組む職員 2.ミシンでの丁寧な作業 3.綺麗にカットされたマスクの生地 |
|   | 3 |                                               |

## お守りを作って 市民病院に寄附!



お守りには、リラックスなどに効果があるとされる「アロマオイル」が付いたり、一つ一つのお守りに、医療従事者への手書きのメッセージが入っていたりします。また、受け取った人が、笑顔になれるように、ニコちゃんマークが付けられているなど、心のこもったお守りとなっています。

5月8日、加東市民病院に手作りしたお守りを寄附するために、西部瑠菜さん(杜小学校・4年)が、市民病院を訪れました。

## 手紙で伝える 感謝の気持ち!

た彩希さんが、素直な感謝の気持ちを、自ら記したものです。

手紙には、「今は、新型コロナウイルスがはやっている中、一生けんめい働いてくださりとても感謝しています。(中略)ごみは生活していたらぜったいにできません。なのでごみ収集車の方々のみなさんがいるからごみが減っていくのです。(中略)最後に、新型コロナウイルスの中いそがしいとおもいますが、これからもお体に気をつけてください!

このお手紙で少しでも元氣になればと思いました!いつもお疲れ様です。😊(原文ママ)」と書いてありました。

新型コロナウイルス感染症に関する暗い話題が多いなか、心が温かくなり、ほっこりしますね。

4月30日、岸本彩希さん(東条西小学校・6年)からの、ごみを収集している職員への感謝の気持ちを込めた温かい手紙が、小野クリーンセンターに届きました。手紙は、新型コロナウイルス感染症に関する報道をみ